

令和4年度第12回
公立大学法人公立ほこだて未来大学教育研究審議会議事録

- 1 日 時 令和5年1月23日(月) 15:00～15:51
- 2 場 所 オンライン開催
- 3 出席者
委 員：片桐学長(議長)、川嶋副理事長、横川事務局長(理事)、三上副学長(学科長)、鈴木(恵)副学長(社会連携センター長)、和田学科長、中小路情報ライブラリー長、宮本メタ学習センター長、大場システムデザインセンター長
オブザーバー：安井情報デザインコース長、櫻沢複雑系コース長、川越教務委員長、新美学生委員長
事 務 局：杉村企画総務課長、佐藤(修)財務・研究支援課長、久保田教務課長

4 議 事

(1) 審議事項

- ① 研究インテグリティの確保および利益相反マネジメントに関する運営体制の整備について
- 鈴木(恵)社会連携センター長から、資料1に基づき説明があり、関係規程は次回の教育研究審議会にて諮る予定で、制度について原案のとおり了承された。
- ② クロスアポイントメント制度の導入について
- 川嶋副理事長と杉村企画総務課長から、資料2に基づき、クロスアポイントメント制度の導入について諮り、原案のとおりに了承された。また、運用方法や他大学での例について質疑があり、今回は制度を整えたもので、運用については、具体的な申請の内容に沿って検討していく旨の回答があった。

(2) 報告事項

- ① 令和5年度教員海外研修派遣について
- 川嶋副理事長から、資料3に基づき、次年度の教員海外研修派遣について報告があった。

(3) その他

- ① 2023年度学年暦について
- 久保田教務課長から、資料4に基づき、2023年度学年暦について説明があった。例年の学年暦との違いとして、クォーター制の試行に伴い、授業日の色分け、第1、3クォーターの履修登録期間および第2、4クォーターの授業の取消期間について説明があった。なお、第2、4クォーターの追加の履修登録について質疑があり、現状は履修登録の上限の管理がシステム上難しいことから、追加の登録は考えていないが、今後の制度の本格化によって検討することは可能である旨の回答があった。

あった。